



神奈川県小田原市
小沢重彦税理士事務所

〒250-0042 小田原市荻窪452-3

小沢重彦
昭和21年7月生まれ
昭和52年税理士登録

顧客満足度を意識し、質の高いサービス提供を徹底。基本業務ともいえる月次決算を正確かつタイムリーに行い、その報告・相談を通じて関与先との関係を恒常的に深めるとともに、自計化へのサポートにも力を入れるなどのプラスアルファを提供するようにしている。

また、業務にあたっては、関与先が何を求めているかを真に見極めることが重要になるが、その基準のひとつとして、関与先の事業規模や経営状態などに応じて提供するサービスを細分化。それに伴い「制度会計の確立ができたら次は管理会計の導入」へ、「管理会計が確立されたら経営戦略の策定へ」と、サービスを高次元化する体制も整えた。

「税理士を取り巻く環境は厳しさを増していますが、サービスの高品質化によって生き残っていくことは可能なんです。最近、銀行や保証協会との折衝代行といった業務も目立ってきました。こうしたニーズは今後も確実に増えていくでしょうから、「税務にこだわらず、しかし離れない」という姿勢がこれからは重要になってくると思います」

法人化を見据え 後継者を育成

現在、小沢重彦税理士事務所の関与先は約250件を数えるまでになった。だが小沢氏は、さらに高いステージを目指し、「まだまだ取り組むべきテーマは多い」と言葉を続ける。

「そのひとつが、法人化への取り組みです。その勉強のために、各地法人への研修視察などを積極的に行っていきます」

そしてもうひとつの重要な課題が、後継者の育成だ。これは多くの税理士事務所にも共通する課題であるとともに、法人化実現のためにも必須のテーマだ。

「所内での私の大きな役割のひとつは、後継者に“いいもの”を残すこと。そして、この場合の“いいもの”とは、たくさんさんの経験を与えることだと思うんです。うれしいことに、優秀な人材が育ちつつあり、その所員を核に全員が力を合

わせて事務所を発展させようという共通意識ができています。非常に頼もしく、これからが楽しみです」

常に近い将来のビジョンを掲げ、実現してきた小沢氏は、その歩みを振り返って「いつも自分への動機づけを欠かさなかった」と語る。事務所経営の目的や将来の目標をはじめ、人生の目標も常に明らかにし、実現へと結びつけてきたのだ。「余裕ある中規模事務所」であり続けようという考えは、今も同じです。その実現のためにも、後継者にいい形でバトナタッチできればうれしいですね」



私の仕事

明確なビジョンの提示と高い動機づけで着実に事業を拡大 ステップアップを続ける「余裕ある中規模事務所」

自らの道は 自りで切り開く

箱根、伊豆といった一大観光地に隣接し、古くから商業や文化交流の拠点として栄えてきた神奈川県小田原市。小沢重彦税理士事務所は、そのほぼ中心部に位置する。開業は昭和55年。小沢重彦所長を含め、計15名のスタッフが、広く神奈川県下にわたる関与先の「経営パートナー」として業務を展開している。

所長の小沢氏は、大学卒業後、東京都内の商社に就職した。それが一転して税理士を目指すようになったのは、宮仕へのサラリーマン生活に疑問を抱いたところから始まった。

「自らの道は自らで切り開きたいという思いが日々、大きくなっていきました。結局、入社から1年4か月で退職し、郷里の会計事務所の門を叩いたんです。税

理士という職業を選んだのは、世間を広く知ることができると感じたから。『二国一城の主』という夢に向かっている、24歳での再出発でした」

むろん片手間の勉強で合格するほど税理士試験は甘くない。小沢氏は通勤の電車内はもちろん、駅から事務所までの道すらも歩きながら参考書を読むなど、猛烈に勉強したという。そんな努力が実を結び、30歳で全科目合格。33歳で念願の独立を果たした。

「事務員を1人雇ったの、文字とおりゼ口からの船出でした。喜びと同時に不安も大きかったですね」



キーワードは サービスの高品質化

開業後は、丹念に関与先を開拓。青年会議所や法人会などを通じて積極的な人

脈づくりに励み、徐々に関与先を増やしていった。その結果、開業10年で関与先は約130件を数えるようになり、その3年後には4階建ての新事務所を構えるまでになる。

「独立当初から、『すでに税理士は飽和状態』といわれていましたが、地域に根を下ろして付加価値の高いサービスを提供できれば、必ず勝ち残っていくと信じていました。目指したのは、余裕ある中規模事務所。その実現のため、3年後、5年後のビジョンを常に明確にし、所員が共有することに努めてきました」

例えば平成3年以来、毎年欠かさず「中期経営計画書」を作成。経営目標などを明確に数値化し、発表会も行っている。また、毎期のスローガンを所内公募するほか、事務所の基本理念も簡潔にまとめ、所員のモチベーションアップに結びつけている。

一方、関与先へのサービス面では常に